

2007年6月28日
株式会社ネクスト

地域・生活者コミュニティサイト「Lococom」

小・中学校における教育コミュニケーション実態調査

～教師と保護者のコミュニケーションギャップ～

地域・生活者コミュニティサイト「Lococom」および住宅・不動産情報ポータルサイト「HOME'S」を運営する株式会社ネクスト(本社:東京都中央区、代表取締役社長:井上高志、東証マザーズ:2120)は、全国の小・中学校の教職員、並びに小中学生の保護者を対象に、「教育コミュニケーション」に関する実態調査を実施いたしました。このたび、調査結果をまとめましたので、ご報告いたします。

【HOME'S リサーチ】

“小・中学校における教育コミュニケーションの実態”調査”

<http://club.homes.co.jp/research/>

<調査概要>

調査対象 : ①全国在住で、現在小学校、もしくは中学校に在籍する教職員(管理職を含む)男女

②全国在住で、現在長子が小学校、もしくは中学校在学の男女保護者

調査手法 : インターネット調査

有効回答数 : 1,700人(教職員850人、保護者850人)

調査時期 : (教職員対象調査)2007年6月11日(月)～2007年6月12日(火)

(保護者対象調査)2007年6月14日(木)～2007年6月15日(金)

<主な調査結果>

1. 保護者・教師間でコミュニケーションの達成意識には20%以上のギャップ。

教師が消極的になる一因は「モンスターペアレント」か。

保護者と子どもの担任教師間のコミュニケーションについて、小学校、中学校ともに保護者側は25%以上が「まったくコミュニケーションがとれていない」と回答。それに対して教師側が消極的な一因として、「保護者からのクレーム」「モンスターペアレント」等が背景にうかがえます。

2. 互いに「相手が忙しい」、「時間が合わない」と感じている教師と保護者。

小学校、中学校ともに、保護者の10%以上が「過去一年以内に、一度も子どもの担当教師と会ったことがない」と回答。共働き家庭も増加する中、「互いの時間が合わない」と感じている教師・保護者の回答が目立ちます。

3. コミュニケーションロス解消のためのPC活用については、教師・保護者共に過半数が条件付きで賛成。「対面コミュニケーションありき」が大前提。

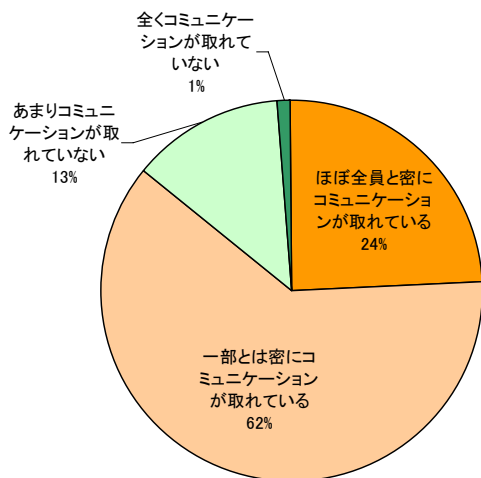
現状のコミュニケーションロスを解消する手段としての「PCの活用」については教師・保護者ともに過半数が賛成しています。Eメールの利用、掲示板などによる双方向コミュニケーションなどに対して前向きな意見が見られますが、「直接対面でのコミュニケーション」が最重要である、という認識は教師・保護者ともに変わらないようです。

1. 教師・保護者間のコミュニケーション意識ギャップ

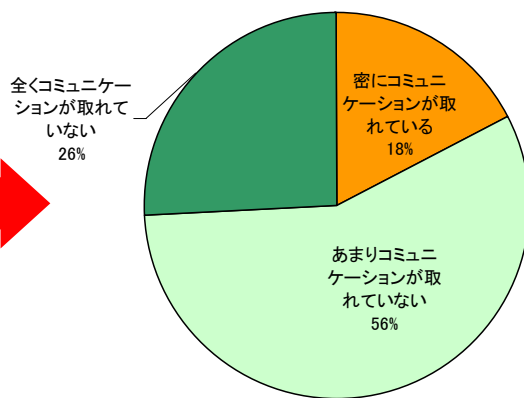
教師・保護者間でコミュニケーションの達成意識には20%以上のギャップ。
教師が消極的になる一因は「モンスターペアレント」か。

教師と保護者間のコミュニケーションの現状について、教師、保護者のそれぞれの意識を尋ねてみました。

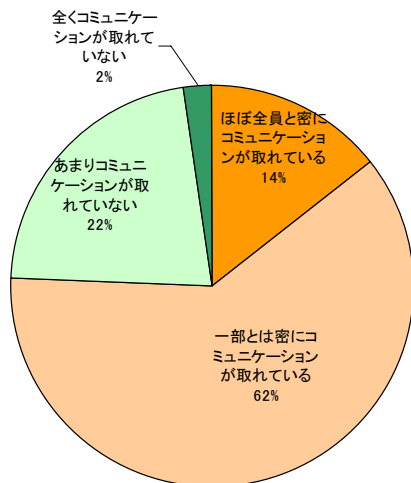
＜保護者とのコミュニケーション意識：
小学校教師＞



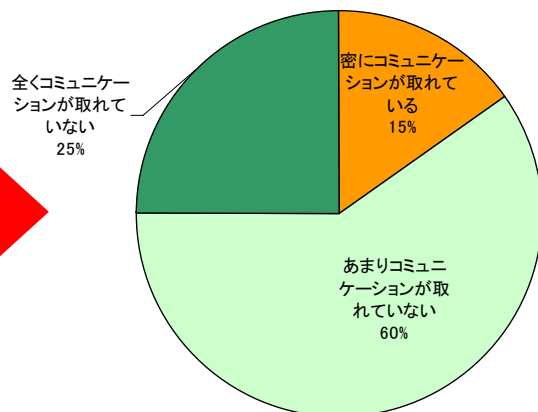
＜子どもの担任とのコミュニケーション意識：
小学生保護者＞



＜保護者とのコミュニケーション意識：
中学校教師＞



＜子どもの担任とのコミュニケーション意識：
中学生保護者＞



小学校、中学校ともに、教師の意識と保護者の意識に大きな開きがあることが分かります。教師側の回答で「全くコミュニケーションが取れていない」という回答は1～2%程度なのに比べて、保護者側の視点で見ると、「全くコミュニケーションが取れていない」と感じる保護者は全体の4分の1以上になります。

1人で多数の児童・生徒、保護者を相手にしなければならない教師と保護者の意識ギャップという他に、教師側の「保護者とのコミュニケーションにおける問題点」の自由回答の中からある特徴がみられます。

<教師側：自由回答ピックアップ>

	居住 都道府県	年齢	属性
モンスターペアレントの多い地域性でもあるため、個人情報、は、できるだけ公開したくない。	大阪府	52	教師
あまり聞く耳をもたれず、モンスターペアレントといわれる保護者がいる。	佐賀県	41	教師
保護者の意識が大きく変わってきており、こちらの好意でしたことがうまく伝わらないことがある。指導のしかたにも細かく気におかなければならないため、つっこんだ指導ができていくこともある。	香川県	45	教師
保護者の中に我が子への溺愛や、こちらが公務員であることについて「私たちが金を払っている」という意識があり、コミュニケーションが成立しないことがある。	兵庫県	30	教師

「学校に理不尽な要求やクレームを持ち込み、教育現場を混乱させる親＝モンスターペアレント」については以前からメディアなどでも取り上げられていますが、教師側からの回答の中にも実際に「保護者側からのクレーム」や「保護者からの指導に対する反発」を教師と生徒、教師と保護者とのコミュニケーションにおける障害、問題点と捉える回答が多数上がっています。

一方で保護者側からは、学校がクレームを恐れるあまり、保護者とのコミュニケーションを避ける傾向があり、教師に相談をしたくても深い話がなかなかできないことや、学校への電話禁止や互いの電話番号の非公開など、過剰な個人情報保護の弊害を指摘する声も上がっています。

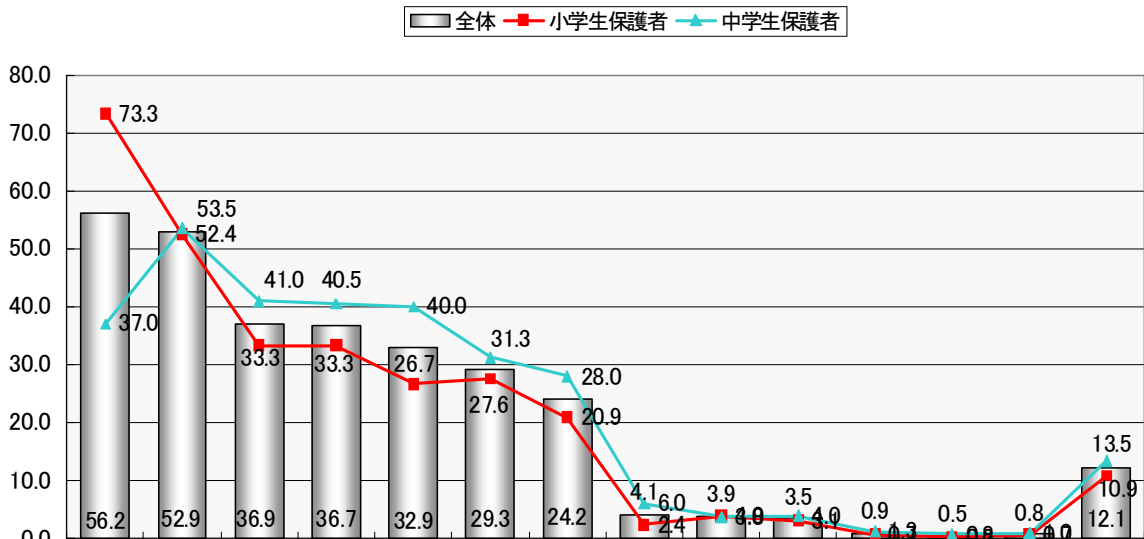
<保護者側：自由回答ピックアップ>

	居住 都道府県	年齢	属性
ある程度本音で話そうと試みるが、構えられてしまうことが多い。苦情を言われると思い込んでいる節があり、学校行事等で行くことが多いわけですが、なかなか話せない。それだけつまらない事で苦情を言う馬鹿親が多いって事なのか……。失望しつつ、先生には同情します。	宮城県	41	母親
学校への保護者からの電話が基本的に禁止されている。朝、学校を休むときに電話でなく連絡帳で知らせることになっているが、回りに知り合いがいないので困る。	東京都	35	母親

2. 教師・保護者間のコミュニケーション実態

互いに「相手が忙しい」、「時間が合わない」と感じている教師と保護者。

＜子どもの担当教師とのコミュニケーション方法について＞（有効回答数＝850人）



	n	連絡帳	直接口頭での会話	学校行事	プリント・配布文書	面談（面接）	家庭訪問	固定電話	携帯電話	学校のメール配信サービス	課外活動	担任とのEメールのやり取り	担任との携帯電話を使うためのメールのやり取り	その他	特にコミュニケーションはない
全体	850	56.2	52.9	36.9	36.7	32.9	29.3	24.2	4.1	3.9	3.5	0.9	0.5	0.8	12.1
小学生保護者	450	73.3	52.4	33.3	33.3	26.7	27.6	20.9	2.4	4.0	3.1	0.7	0.2	0.7	10.9
中学生保護者	400	37.0	53.5	41.0	40.5	40.0	31.3	28.0	6.0	3.8	4.0	1.3	0.8	1.0	13.5

子どもの担当教師と保護者のコミュニケーション手段について保護者に尋ねたところ、小学生保護者の回答トップは「連絡帳」(73.3%)。中学生保護者の回答トップ(53.5%)、そして小学生保護者の回答第2位(52.4%)は「直接口頭での会話」でした。

＜過去一年間で子どもの担当教師と会った回数＞

	n	0回	1回	2回	3～5回	6～9回	10回以上
全体	850	13.5	16.2	16.4	28.7	12.7	12.5
小学生保護者	450	11.6	15.8	13.6	30.2	14.9	14.0
中学生保護者	400	15.8	16.8	19.5	27.0	10.3	10.8

(有効回答数＝850人)

しかし、「直接の会話」と言っても、実際にはなかなか担当教師と保護者が直接対面でのコミュニケーションをとるための時間が作りにくいのが現状のようです。

「過去一年間で子どもの担当教師と会った回数」については、小学生保護者、中学生保護者とも一番多かったのは「3～5回」という回答。「0回」という回答も小学生保護者の11.6%、中学生保護者の15.8%に上ります。

共働き家庭もますます増加する中、実際に教師と保護者が顔を合わせる機会を作りたいくても作れない家庭もあるようです。

<教師側自由回答ピックアップ>

	居住 都道府県	年齢	性別
連絡したい家庭に限って(逆に当たり前かもしれないが)共稼ぎだったり・欠損家庭であったりして連絡が取りにくい・取れない、夜間遅くなどでないと連絡が取れない・家庭訪問・保護者との面談ができない。	埼玉県	51	男性
保護者の仕事ですぐに連絡がとれないことがある。また、連絡帳など子どもを通した場合、それを忘れていることがある。	秋田県	41	男性
保護者によって、連絡が取れる時間が異なるので、遅い時間にしか連絡が取れない保護者に対しては、電話や家庭訪問ができず、連絡帳などでのやりとりになってしまう。そこで、気持ちの行き違いが起こることもあり、できれば直接コミュニケーションをとりたいなと感ずることがある。	徳島県	36	女性

<保護者側自由回答ピックアップ>

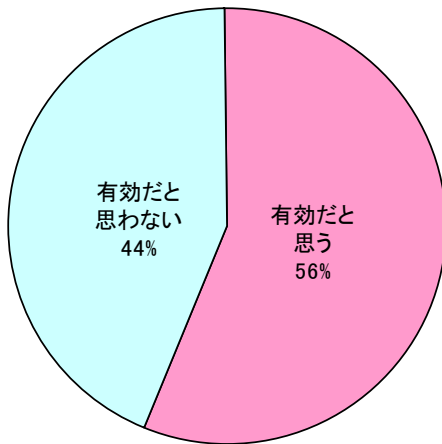
	居住 都道府県	年齢	性別
本来は日ごろからコミュニケーションを取るべきと感ずるが、現状では接する時時間帯が合わない	神奈川県	43	父親
日中仕事をしているため、こちらの都合のよい時に先生との連絡が取れないことが多い。	愛知県	39	母親
先生側に連絡を取ろうと思っても「今の時間は忙しいのでは？」と思い、思うように連絡が取れない。	兵庫県	32	母親
教師の時間を拘束しにくいとため、密なコミュニケーションが取りにくい。そのためのメールなどの手段だと思われるが、教師からはメールアドレスは教えてくれない。	大阪府	41	母親

3. PC活用の可能性

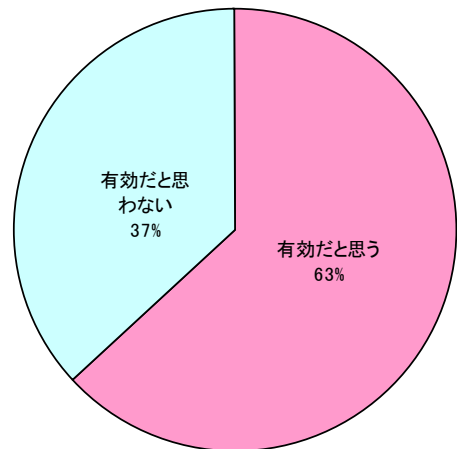
教師・保護者ともに過半数が、コミュニケーションロス的手段としてPC活用に賛成。

現状のコミュニケーションロスを解決する手段として、教師・保護者共に過半数が「PCの活用が有効だと思う」と回答しています。

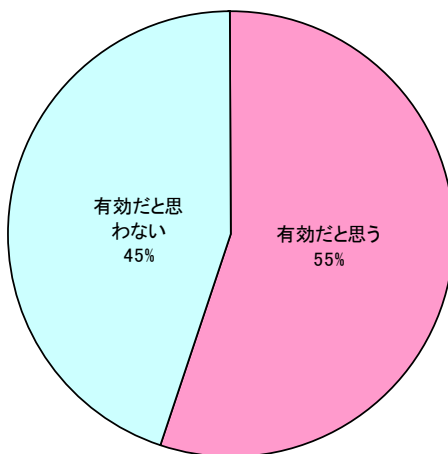
＜PCを活用したコミュニケーションについて：
小学校教師＞



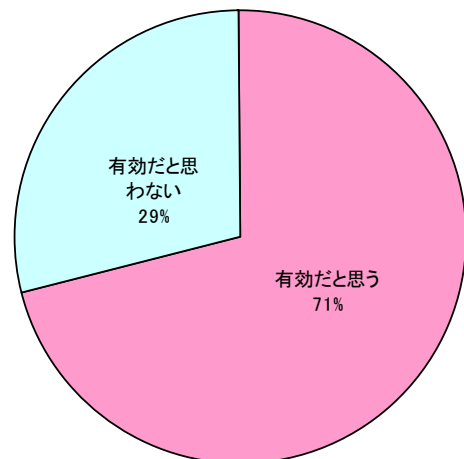
＜PCを活用したコミュニケーションについて：
小学生保護者＞



＜PCを活用したコミュニケーションについて：
中学校教師＞



＜PCを活用したコミュニケーションについて：
中学生保護者＞



お互いの時間のずれを気にしないでやりとりができるメールの活用や、掲示板などによる子どもも交えたコミュニケーション手段、緊急時の一斉連絡などが特に有効手段として捉えられているようです。

ただし、賛成派も「**対面でのコミュニケーションが第一であることが前提である**」ことを明記しています。文字に頼ったコミュニケーションによる意識のずれや行き違い、PC活用のコミュニケーションに頼りすぎることですます対面コミュニケーションが薄れていくのでは、という心配の声も上がっています。また、教師側からはPC活用に頼りすぎること、各家庭のITディバイドがコミュニケーションに影響するのでは、という懸念の声も上がっています。

対面でのコミュニケーションの機会を失わないよう互いが努力しつつ、物理的、時間的な問題の解消や補助的な手段としてPCを活用していく、というのが教育コミュニケーションでは望ましいようです。

<教師側自由回答ピックアップ>

	居住 都道府県	年齢	属性
それぞれの家庭での事情があり(仕事など)、学校行事や学級懇談に参加できない保護者同士が、パソコンのメールなどによって時間帯など関係なくつながりを持つことができるのではないかと思います。	熊本県	43	教師
パソコンを持っていない、あるいは利用が上手くできない人もいて、公平にコミュニケーション取れないのではないかと。	群馬県	49	教師

<保護者側自由回答ピックアップ>

	居住 都道府県	年齢	属性
時間を気にせずに、言葉が言える。 わざわざ電話などをすると 相手に大げさに思えることも メールだと受け取ってもらいやすい。(勿論、お礼などちゃんとしなければならぬものは口頭ですが・・・)	宮城県	45	母親
パソコンでのコミュニケーションで先生側が十分できたと思う教師ができてくると考えられる。あくまでも"少数派の手段として使うこと"を教師に教育しないと危険である。	兵庫県	39	父親

「Lococom(ロココム)」とは:

従来のSNS・ブログサービスに、家計簿やスケジュールなどの管理機能を備えたマイページ(個人空間)、会員同士が全国市区郡単位で、情報を共有・交換できるマイタウン(地域空間)、店舗が無料でオフィシャルブログを開設することができ、個人会員・マイタウン・インターネットユーザーへ情報発信できる店ブログ(法人空間)の3つの空間が連動して形成されています。

「HOME'S」とは:

北海道から沖縄まで、全国約100万件の不動産物件情報を検索できる、日本最大級の住宅・不動産情報ポータルサイトです。 楽天市場、infoseek、Nifty、BIGLOBE、OCN、ODN、dion、So-net、Excite、asahi.com、ビッダーズ、駅前探検倶楽部、ascii24、オリコン等の50以上のサイトと提携しています。

< 会社概要 >

社名 : 株式会社ネクスト
証券コード : 2120 東証マザーズ
設立 : 1997年3月12日
代表者 : 代表取締役 井上 高志
資本金 : 198百万円
所在地 : 〒104-6215 東京都中央区晴海1-8-12
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
連絡先 : 電話: 03-6204-4040(代) FAX: 03-6204-3961
URL : <http://www.next-group.jp/>
事業内容 : 不動産ポータル事業
・日本最大級の住宅・不動産情報ポータルサイト「HOME'S」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「新築HOME'S」の企画・運営
・新築分譲マンションポータルサイト「イースマイドットコム」の企画・運営
・新築分譲戸建住宅ポータルサイト「新築一戸建てHOME'S」の企画・運営
・不動産投資ポータルサイト「投資HOME'S」の企画・運営
・不動産オークションサイト「HOME'Sオークション」の企画・運営
広告代理事業
・Web広告プロモーション、バナー広告の企画提案ファイナンス事業
その他事業
・「HOME'S CARD 家賃サービス」の企画・運営
・「HOME'S マイルーム保険」の企画・運営
・「HOME'S 保険生活」の企画・運営
・地域・生活者コミュニティサイト「Lococom」の企画・運営
関係会社 : 株式会社ウィルニック、株式会社レンターズ

< 本件に関するお問い合わせ先 >

株式会社ネクスト 管理本部 広報グループ
東京都中央区晴海1-8-12
晴海アイランドトリトンスクエア オフィスタワーZ棟 15階
TEL: 03-6204-4067 FAX: 03-6204-3963
E-MAIL: press@next-group.jp